

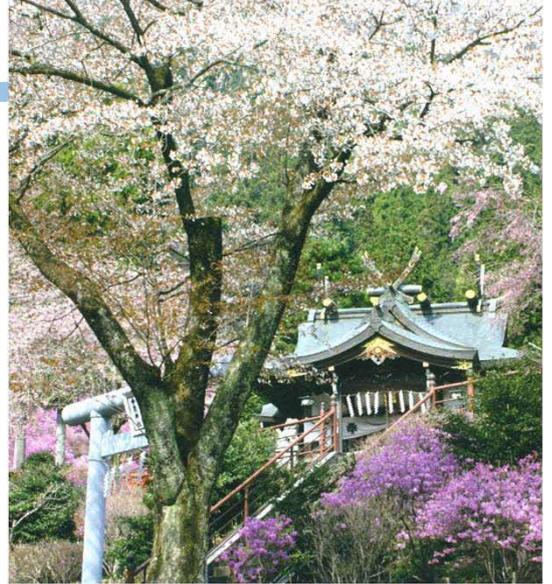
自然・名所

おすすめの
ポイント

植物や生き物などの貴重な自然と、寺社などの名所のどちらも楽しめるのが、川口地区の魅力です。地域住民のおすすめの場所を紹介します。

今熊山・今熊神社 → P24 今熊神社の獅子舞

川口を代表する今熊山は、元旦には山頂でご来光を迎える人が多く訪れ、春はミツバツツジやヤマザクラの名所として人気があります。また、今熊山の山頂で、帰らぬ人の名前を3度呼ぶと行方が分かるという「呼ばわり山」の言い伝えも知られています。 たけはやすさのおのみこと つきよみのみこと
山頂の今熊神社は、建速須佐之男命、月夜見命をまつる、歴史ある神社で、8月には獅子舞が奉納されます。



川口・上川エリア

上川の里

良好な里山環境が残る、都内でも有数の場所です。現在、地域住民やNPOなど様々な団体が連携し、利活用を進めています。市では、上川の里を『保全と活用のシンボル』として、里山景観・生態系を保全するとともに、年代や地域を問わず幅広い市民が里山環境に親しむ場、環境教育・学習の場としての活用を目指しています。

橋めぐり

川口川には多くの橋が架かっており、それぞれに、「午頭橋」や「東釜の沢橋」などユニークな名前が付けられています。名前の由来を想像しながら、橋めぐりを楽しんでみて下さい。



川口中学校

ふるさと学習室

郷土の歴史と道具、生活様式を展示した教室で、昔の人々の生活にふれることができます。地域開放も行っており、囲碁教室や将棋教室としても有効活用されています。



白山神社

創建は文治3年(1187年)と伝えられる由緒ある神社で、別当は長楽寺です。令和3年(2021年)11月には、社殿や鳥居が新しくなり、参道も美しく整えられました。

天合峰・高丸山

貴重な動植物の宝庫である天合峰は東京を代表する里山の一つで、川口町1番地が始まる地点でもあります。東側にある高丸山も散策スポットとしておすすめです。



山入から美山へ

八王子市への合併を機に、山入の地名を見直し、明るい地名にしようと、一般から新町名を募集しました。多数の応募の中から「美山町」が選ばれ、町民の賛同、議会の議決を経て、決まりました。昭和31年(1956年)10月1日から美山町名が施行されています。



日枝神社



享保15年(1730年)に創建された神社で、昭和初期までは山王様とも呼ばれていました。内神殿の見事な彫刻は当時の名工による高い技術を現在に伝えています。4月の第2日曜日には、山入の籠獅子舞が披露されます。

→ P24 山入の籠獅子舞

琴平神社



かなやまびこのみこと

金山彦命をまつる神社で、寛政年間(1789~1801年)に創建されました。当時、松木地蔵堂の庵主だったお坊さんが、自らの手で山頂に社屋を建てたと伝えられています。また、松木地蔵堂の境内には馬頭観音などの石仏が残されています。

山入城

平成24年(2012年)に、美山町御屋敷地区入口で見つかった室町時代の城跡で、南北2つの城が複合したものです。かつてこの地に武家屋敷があったといわれており、古くから「御屋敷」と呼称されていました。

大光寺

室町時代に創建され、八王子三十三観音霊場七番札所になっています。春には枝垂桜も見事です。



川口の自然

川口地区には、多様な生態系を保全し豊かな景観をもたらす里山をはじめ、ホタル、トウキョウサンショウウオやオオムラサキといった希少な生き物や、ウラジロなどの珍しい植物が生息しています。こうした貴重な自然を守り伝えていきましょう。



トウキョウサンショウウオ



オオムラサキ



ゲンジボタル



ツバメシジミ



モリアオガエル



樹液に集まる昆虫

美山エリア



美山小学校 鐘と金次郎

美山小学校は、美山町が山入村と呼ばれていた明治時代に、村の寺子屋を山入小学校として開校したことに始まります。二宮金次郎像(写真上)と学び舎の鐘(写真下)が現在まで伝わっています。



地域概要

町会・自治会
活動団体

サポーター活動

文化・教育
(子ども)活動

健康・福祉
(シニア)活動

テーマ型
(NPO等)活動

教育・市民
文化施設

公園

医療・介護・
福祉等施設

避難場所

地域資源マップ
おすすめ情報

統計データ